

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果（概要）について

栃木県教育委員会事務局義務教育課

1 調査の概要

(1) 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査の対象

小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、特別支援学校小学部第6学年、
中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、特別支援学校中学部第3学年の全児童生徒

(3) 調査の内容

ア 教科に関する調査（国語、算数・数学、理科）

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
 - ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等
- ※ 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととしている。

イ 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

- ・ 児童生徒に対する調査
- ・ 学校に対する調査

(4) 調査実施日 令和4（2022）年4月19日（火曜日）

(5) 調査を実施した学校・児童生徒数

学 年	実施校数	内 訳	児童生徒数
小学校6年	347校	小学校・義務教育学校 344校 特別支援学校小学部 3校	15,070人
中学校3年	159校	中学校・義務教育学校 156校 特別支援学校中学部 3校	15,039人
全 体	506校		30,109人

※ 調査対象児童生徒の在籍がなかった小学校・義務教育学校・特別支援学校小学部 7校
中学校・義務教育学校・特別支援学校中学部 4校

2 調査結果の概要

(1) 教科に関する調査の結果

ア 平均正答率

(単位：%)

学年	項目	県・全国 (公立)	国語	算数・数学	理科
小学校 6年	設問数		14	16	17
	平均	本県	65	62	64
	正答率	全国	65.6	63.2	63.3
中学校 3年	設問数		14	14	21
	平均	本県	69	49	50
	正答率	全国	69.0	51.4	49.3

※ 文部科学省では、全国平均正答率を小数値、各都道府県の平均正答率を整数値で公表している。

イ 学習指導要領の内容別の平均正答率

① 小学校6年 国語

(単位：%)

学習指導要領の内容		本県 (全国)	全国との差 (ポイント)
知識及び 技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項 (5問)	68.2 (69.0)	-0.8
	(3) 我が国の言語文化に関する事項 (1問)	81.0 (77.9)	3.1
思考力、 判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと (2問)	66.6 (66.2)	0.4
	B 書くこと (2問)	48.7 (48.5)	0.2
	C 読むこと (4問)	65.2 (66.6)	-1.4

【全国の結果との比較】

- ・ 「我が国の言語文化に関する事項」については、全国平均正答率より3.1ポイント高い。

② 小学校6年 算数

(単位：%)

学習指導要領の領域		本県 (全国)	全国との差 (ポイント)
A	数と計算 (6問)	69.0 (69.8)	-0.8
B	図形 (4問)	64.1 (64.0)	0.1
C	変化と関係 (4問)	49.0 (51.3)	-2.3
D	データの活用 (3問)	66.5 (68.7)	-2.2

【全国の結果との比較】

- ・ 「図形」以外の3領域において、全国平均正答率を下回っている。

③ 小学校6年 理科

(単位：%)

学習指導要領の区分・領域		本県 (全国)	全国との差 (ポイント)
A区分	「エネルギー」を柱とする領域 (4問)	51.6 (51.6)	0.0
	「粒子」を柱とする領域 (5問)	61.6 (60.4)	1.2
B区分	「生命」を柱とする領域 (5問)	76.1 (75.0)	1.1
	「地球」を柱とする領域 (5問)	64.7 (64.6)	0.1

【全国の結果との比較】

- ・ 「エネルギー」を柱とする領域以外の3領域において、全国平均正答率を上回っている。

④ 中学校3年 国語 (単位：%)

学習指導要領の内容		本県 (全国)	全国との差 (ポイント)
知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項 (6問)	72.1 (72.2)	-0.1
	(2) 情報の扱い方に関する事項 (1問)	47.7 (46.5)	1.2
	(3) 我が国の言語文化に関する事項 (3問)	70.6 (70.2)	0.4
思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと (3問)	63.9 (63.9)	0.0
	B 書くこと (1問)	47.7 (46.5)	1.2
	C 読むこと (2問)	67.0 (67.9)	-0.9

【全国の結果との比較】

- ・ 「情報の扱い方に関する事項」、「書くこと」については、全国平均正答率より1.2ポイント高い。

⑤ 中学校3年 数学 (単位：%)

学習指導要領の領域		本県 (全国)	全国との差 (ポイント)
A	数と式 (5問)	54.8 (57.4)	-2.6
B	図形 (3問)	42.6 (43.6)	-1.0
C	関数 (3問)	41.9 (43.6)	-1.7
D	データの活用 (3問)	54.8 (57.1)	-2.3

【全国の結果との比較】

- ・ 全ての領域において、全国平均正答率を下回っている。

⑥ 中学校3年 理科 (単位：%)

学習指導要領の領域		本県 (全国)	全国との差 (ポイント)
第1分野	「エネルギー」を柱とする領域 (6問)	42.1 (41.9)	0.2
	「粒子」を柱とする領域 (5問)	50.9 (50.9)	0.0
第2分野	「生命」を柱とする領域 (5問)	58.9 (57.9)	1.0
	「地球」を柱とする領域 (6問)	44.9 (44.3)	0.6

【全国の結果との比較】

- ・ 「粒子」を柱とする領域以外の3領域において、全国平均正答率を上回っている。

(2) 児童生徒質問紙調査の結果

※ 網掛けは、とちぎっ子学習状況調査の結果を示している。

ア 教科の学習について

「国語（算数・数学、理科）の授業の内容はよく分かりますか。」の質問に対し、「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合（単位：％）

学年・教科	令和4年度（全国）	令和3年度（全国）
小学校6年 国語	87.3（84.0）	87.1（84.2）
中学校3年 国語	84.7（81.2）	83.3（80.1）
小学校6年 算数	82.6（81.2）	85.8（84.6）
中学校3年 数学	78.9（76.2）	75.4（74.6）
小学校6年 理科	91.6（88.5）	
中学校3年 理科	80.0（75.2）	

【全国の結果との比較】

- ・ 小学校国語では3.3ポイント、中学校国語では3.5ポイント高い。
- ・ 小学校算数では1.4ポイント、中学校数学では2.7ポイント高い。
- ・ 小学校理科では3.1ポイント、中学校理科では4.8ポイント高い。

【令和3年度との比較】

- ・ 小学校、中学校とも国語において、肯定的に回答した児童生徒の割合が高くなっている。

〈参考〉令和4（2022）年度とちぎっ子学習状況調査との関連

（単位：％）

学年	国語	算数・数学	理科
小学校4年	89.0	88.4	92.2
小学校5年	91.6	87.3	93.1
小学校6年	87.3	82.6	91.6
中学校2年	88.8	78.0	82.1
中学校3年	84.7	78.9	80.0

【とちぎっ子学習状況調査との関連】

- ・ 国語では、小学校から中学校にかけて、1.5ポイント高くなっている。

イ 自尊心、夢や目標について

① 「自分には、よいところがあると思いますか。」の質問に対し、「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合（単位：％）

学年	令和4年度（全国）	令和3年度（全国）
小学校6年	81.5（79.3）	79.2（76.9）
中学校3年	80.9（78.5）	78.9（76.2）

【全国の結果との比較】

- ・ 小学校では2.2ポイント、中学校では2.4ポイント高い。

【令和3年度との比較】

- ・ 小学校では2.3ポイント、中学校では2.0ポイント高くなっている。

〈参考〉令和4（2022）年度とちぎっ子学習状況調査との関連

（単位：％）

学年	肯定的回答の割合
小学校4年	79.6
小学校5年	79.2
小学校6年	81.5
中学校2年	74.3
中学校3年	80.9

【とちぎっ子学習状況調査との関連】

- ・ 中学校では学年が上がるにつれて、肯定的に回答した生徒の割合が高くなっている。

- ② 「将来の夢や目標をもっていますか。」の質問に対し、「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合 (単位：%)

学年	令和4年度(全国)	令和3年度(全国)
小学校6年	80.5 (79.8)	81.9 (80.3)
中学校3年	71.8 (67.3)	73.2 (68.6)

【全国の結果との比較】

- ・ 小学校では0.7ポイント、中学校では4.5ポイント高い。

【令和3年度との比較】

- ・ 小学校、中学校とも1.4ポイント低くなっている。

〈参考〉令和4(2022)年度とちぎっ子学習状況調査との関連 (単位：%)

学年	肯定的回答の割合
小学校4年	87.8
小学校5年	86.5
小学校6年	80.5
中学校2年	69.4
中学校3年	71.8

【とちぎっ子学習状況調査との関連】

- ・ 中学校では学年が上がるにつれて、肯定的に回答した生徒の割合が高くなっている。

ウ 家庭での生活について

「普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含みます。)をしますか。」の質問に対して回答した児童生徒の割合 (単位：%)

小学校6年	令和4年度(全国)	令和3年度(全国)
4時間以上	15.5 (17.2)	14.8 (15.5)
3時間以上、4時間より少ない	13.2 (13.5)	13.8 (13.5)
2時間以上、3時間より少ない	20.9 (19.5)	21.8 (20.4)
1時間以上、2時間より少ない	27.2 (25.9)	27.8 (26.8)
1時間より少ない	15.7 (16.4)	15.0 (16.5)
全くしない	7.4 (7.5)	6.7 (7.2)

中学校3年	令和4年度(全国)	令和3年度(全国)
4時間以上	12.2 (16.3)	12.8 (16.7)
3時間以上、4時間より少ない	12.3 (13.5)	14.5 (15.6)
2時間以上、3時間より少ない	22.0 (20.5)	26.0 (24.7)
1時間以上、2時間より少ない	22.4 (21.0)	24.9 (23.0)
1時間より少ない	18.5 (16.7)	13.3 (12.4)
全くしない	12.6 (11.9)	8.2 (7.3)

【全国の結果との比較】

- ・ 「3時間以上ゲームをしている」小学校では2.0ポイント、中学校では5.3ポイント低い。
- ・ 「2時間以上3時間より少ない」小学校では1.4ポイント、中学校では1.5ポイント高い。
- ・ 「1時間以上2時間より少ない」小学校では1.3ポイント、中学校では1.4ポイント高い。

【令和3年度との比較】

- ・ 「4時間以上ゲームをしている」児童生徒の割合は、小学校、中学校とも同程度である。

〈参考〉令和4(2022)年度とちぎっ子学習状況調査との関連

(単位:%)

	小学校4年	小学校5年	小学校6年	中学校2年	中学校3年
4時間以上	14.3	14.6	15.5	13.9	12.2
3時間以上、4時間より少ない	11.5	11.9	13.2	11.7	12.3
2時間以上、3時間より少ない	15.4	18.0	20.9	20.8	22.0
1時間以上、2時間より少ない	24.1	25.0	27.2	24.0	22.4
1時間より少ない	20.6	18.7	15.7	17.3	18.5
全くしない	13.6	11.5	7.4	12.4	12.6

【とちぎっ子学習状況調査との関連】

- ・ 全ての学年において、「2時間以上ゲームをしている」児童生徒の割合が40%を上回っている。

エ 学校の授業時間以外の学習時間について

「学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)。」の質問に対して回答した児童生徒の割合 (単位:%)

小学校6年	令和4年度(全国)	令和3年度(全国)
3時間以上	5.8(11.3)	6.3(11.6)
2時間以上、3時間より少ない	15.6(13.8)	17.1(15.3)
1時間以上、2時間より少ない	46.5(34.3)	46.7(35.6)
30分以上、1時間より少ない	23.3(25.8)	22.3(24.5)
30分より少ない	6.7(10.5)	5.9(9.5)
全くしない	2.1(4.2)	1.7(3.5)

中学校3年	令和4年度(全国)	令和3年度(全国)
3時間以上	7.3(9.9)	8.8(12.3)
2時間以上、3時間より少ない	28.8(25.3)	32.8(29.5)
1時間以上、2時間より少ない	38.8(34.3)	37.5(34.1)
30分以上、1時間より少ない	15.7(17.0)	13.1(14.1)
30分より少ない	6.2(8.5)	5.3(6.4)
全くしない	3.2(4.9)	2.4(3.5)

【全国の結果との比較】

- ・ 「3時間以上勉強している」 小学校では5.5ポイント、中学校では2.6ポイント低い。
- ・ 「2時間以上3時間より少ない」 小学校では1.8ポイント、中学校では3.5ポイント高い。
- ・ 「1時間以上2時間より少ない」 小学校では12.2ポイント、中学校では4.5ポイント高い。

【令和3年度との比較】

- ・ 小学校、中学校とも「2時間以上勉強している」児童生徒の割合は低くなっている。

〈参考〉令和4（2022）年度とちぎっ子学習状況調査との関連

（単位：％）

	小学校4年	小学校5年	小学校6年	中学校2年	中学校3年
3時間以上	5.8	4.9	5.8	6.6	7.3
2時間以上、3時間より少ない	11.5	12.2	15.6	24.8	28.8
1時間以上、2時間より少ない	30.3	39.6	46.5	41.1	38.8
30分以上、1時間より少ない	37.3	32.0	23.3	18.6	15.7
30分より少ない	11.7	8.8	6.7	6.3	6.2
全くしない	3.3	2.4	2.1	2.6	3.2

【とちぎっ子学習状況調査との関連】

- ・ 学年が上がるにつれて、「2時間以上勉強している」児童生徒の割合は高くなる傾向が見られる。

オ 家庭学習の内容について

「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含みます）。」の質問に対して、「よくしている」、「ときどきしている」と回答した児童生徒の割合（単位：％）

学年	令和4年度（全国）	令和3年度（全国）
小学校6年	76.9（71.1）	78.3（74.0）
中学校3年	65.0（58.5）	68.5（63.5）

【全国の結果との比較】

- ・ 小学校では5.8ポイント、中学校では6.5ポイント高い。

【令和3年度との比較】

- ・ 小学校では1.4ポイント、中学校では3.5ポイント低くなっている。

〈参考〉令和4（2022）年度とちぎっ子学習状況調査との関連（単位：％）

学年	肯定的回答の割合
小学校4年	70.8
小学校5年	72.3
小学校6年	76.9
中学校2年	63.3
中学校3年	65.0

【とちぎっ子学習状況調査との関連】

- ・ 小学校6年において最も高く、76.9％である。